

施設紹介

つかってください！ 文書館

県立図書館と併設されている福井県文書館。図書館のリニューアルと同時に開館し、早くも六年が経ちました。文書館には、福井県の歴史や文化を調べるうえで役に立つ資料が豊富にあります。郷土誌懇談会のみなさんはずでにご存じの方も多いと思われませんが、新しく受け入れた資料やこれまでになかった取り組みも増えていますので、あらためてその概要を紹介したいと思います。



職員の説明を聞く酒生小学校の子どもたちとPTA

● 増えている資料

文書館が所蔵する歴史的公文書（保存期間が満了した県公文書を選別して保存）は三万五〇〇〇冊、古文書は複製も含めて二五万点です（昨年度末現在）。開館時からそれぞれ二万冊、五万点が増加しています。このうち閲覧できるのはそれぞれ八八〇〇冊、一五万六〇〇〇点です（公文書の閲覧には事前申込みが必要です）。

また開館後受け入れた寄贈・寄託資料は、三九資料群・二万四〇〇〇点となりました。この中には剣神社の社家に伝わった『信長日記』、最も古い「三くだり半」(離縁状)、だるまや少女歌劇のプロマイドなど、これまで『文書館だより』などで紹介してきた資料が含まれています。これらの多くはデジタル撮影され、カラー複製本で手軽にご覧いただけます。目録は、事前に当館のホームページから検索できますし、閲覧室で印刷した目録で探すこともできます。探している資料や調べたいことがありましたら、気軽に文書館閲覧室の受付までお尋ねください。

◆ 古文書入門講座など

またはじめて古文書を読んでみたいという初心者の方のためには、入門講座を春と秋に開催しています。このテキストは毎回職員が悩みながら作っていますが、近年の古文書ブームもあって、定員をこえる申込みのある人気講座となつていきます。ほかに県史講座や講演会もあります。

● 資料保存や解読などの相談

文書館では専門家を招いて毎年六月ごろに実習を含む資料保存研修会を開催しています。また、読めない部分についても相談にのっています（鑑定等はできません）。担当職員が不在の場合もありますので、事前に電話等で予約の上ご来館ください。

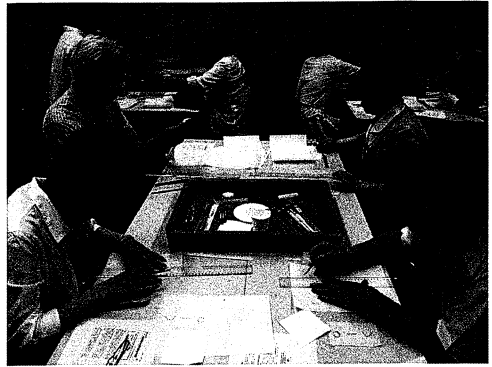
最近、永く県内に伝えられてきた資料が所蔵者の高齢化や過疎化によって失われる事例が少なくありません。資料を処分せざるをえ

平成21年度古文書入門講座（秋期）

参加者募集中

11月7日・14日・21日（土）13:30～15:30

申込みは事前に文書館まで（Tel 0776-33-8890）



資料保存研修会での修復実習（平成21年6月17日）

ない時、そうした事例を見聞きした際には、文書館までご相談ください。

◆学校への働きかけ

未来を担う子どもたちが、ふるさと福井県の歴史的公文書や古文書に関心をもつてくれることはとても大切なことと考えています。このため幼稚園や小・中学校、PTAなどの見学受入れ、高校への出張授業・出張展示、職場体験学習の受入れ、夏休みの課題「郷土新聞」作りへのアドバイス、教職員向けの講座などを行っています。

●閲覧室で収蔵資料を紹介

閲覧室で月毎にテーマを替えて展示を行っています。たとえば、「花押は語る―朝倉氏の織田支配」「誠ニ古今珍敷―小浜町人がみた幕末ふくい」「明治の農業指導書―柿をめぐって」「資料を未来に残す―劣化と修復」「くらしがわかる新聞広告―幕末から明治」「新聞漫画―世相をわらう」など、これまで様々なテーマを取り上げてきました。「ちよつと昔の福井県」シリーズでは、県下の市町や「スポーツ」「健康長寿」などに焦点をあてて県の広



報写真を紹介しています。デジタル化した県広報写真はホームページでもご覧いただけます。

◆ここです。文書館

エントランスの自動ドアから入って図書館入口に向かう左手奥。ガラスの自動ドアが文書館の入り口です。「白川文字学の室」の右側になります。

ぜひ一度お立ち寄りください。

（柳沢美生子）

